

ねじ節鉄筋と定着金物を用いる機械式定着「スクリュープレート工法」



「スクリュープレート工法」はねじ節鉄筋の端部に定着金物を取り付け、グラウトにより固定しコンクリート中に定着させる工法である。コンクリート中に鉄筋を定着させるために設けられた標準フックを特殊な定着金物に置き換えることにより、鉄筋量を減らしコスト低減や施工性向上を図る。従来、鉄筋の先端は定着強度を確保するため折り曲げる必要があった。しかし、この技術を使用することで鉄筋の折り曲げ作業を省略することが可能となった。

(一財) 日本建築センター

(一般評定) : BCJ評定-RC0287-06

朝日工業(株) TEL : 03-3988-4674

<http://www.asahi-kg.jp/>